

三木市記者発表資料 (令和2年10月23日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
都市整備部 プロジェクト推進課	課長 瀧 敏之 (内線 2280)	プロジェクト 推進係	0794-82-2000 (内線 2280)

タイトル
(仮称) 三木スマートインターチェンジ連結許可(事業化)について ～さらに便利に。産業活性化・交通渋滞緩和・安全性向上に期待～
内容
令和2年10月23日に、国土交通大臣より山陽自動車道三木サービスエリアと三木市道との連結が許可され、『(仮称) 三木スマートインターチェンジ』の事業化が認められました。
1 路線名 山陽自動車道吹田山口線(三木東IC～三木小野IC間三木サービスエリア)
2 連結予定施設 市道加佐草加野線
3 接続形式 SA・PA接続型(料金所分離型)
4 形式 全方向(上り線出入口、下り線出入口)
5 運用形態 ETCを搭載した全車種(24時間)
今後も、西日本高速道路株式会社、国土交通省、兵庫県、地元、隣接する小野市と連携を図りながら、早期完成及び利用促進に努めてまいります。 なお、今回の連結許可を受け、今後、連結許可書伝達式の実施も予定しています。
セールスポイント
(仮称) 三木スマートインターチェンジにより、三木市は4つのインターチェンジを有することとなります。また、(仮称) 三木スマートインターチェンジにより、下記の効果が期待されます。
① 山陽自動車道においては、出入口が2箇所から3箇所となり、三木小野ICや三木東ICへの交通集中が分散され、交通渋滞の緩和など、周辺地域において交通事故削減に寄与します。
② 山陽自動車道へのアクセスが広く改善され、特産品である金物産業では出荷の効率化、観光交流施設への来訪が促進され観光産業が活性化するなど、地域経済が活性化します。 また、小野工業団地などの利便性が向上し、さらなる製造出荷額の増加、雇用創出が期待されます。
③ 緊急輸送道路に指定されている山陽自動車道から各避難所へのアクセスルートが複数確保されることで、災害時でも避難、救助、物資供給のルートが途絶えにくくなり、災害に強いまちづくりに寄与します。